

野田市立こだま学園指定管理者候補者
選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年5月30日（火）午前11時40分から午前11時55分まで
開催場所 市役所 2階 中会議室1
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、保健福祉部長、
行政管理課長、管財課長、障がい者支援課長
欠席委員 なし
事務局 障がい者支援課、行政管理課

1 開会

＜委員長より開会の言葉＞

2 議事

平成28年度野田市立こだま学園業務報告書及び平成29年度野田市立こだま学園業務計画書の審査について

＜事務局より平成28年度野田市立こだま学園報告書及び平成29年度野田市立こだま学園業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞

○報告書6ページの（4）人員配置について、18時間勤務の保育士2人はどのような経緯で採用されたのか。

→保育士2人の採用は、平成28年5月と7月に5歳の多動性障害のある男子2人が入園したため補充したものである。

○報告書9ページの（8）年度事業報告について、年間行事に対して利用者からの希望や意見はあるのか。

→年度の最後となる親子遠足では、天候に左右されにくい場所という希望を踏まえ、遠足先を「葛西臨海水族園」と「東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート」とした。

○報告書4ページの10（1）職員配置及び職員の指揮監督、管理体制について、統括した管理体制を構築しているとあるが、具体的な内容はどのようなものか。

→支援における目標の課題分析、方向性や対処等について、教室を4つに分け教室ごとの責任者を決め、更に4教室を児童発達支援管理責任者が統括、最終的に園長が監督する体制を取っている。

○報告書8ページの（7）事故、要望及び苦情対応状況について、「廊下のタイル

が劣化して歩きづらく、子どもが転倒するので張り替えてほしい。」との要望に対し、野田市により施工方法等を検討後、対応を検討するとあるが、その後どうなっているのか。

→現場を確認したところ、廊下の壁際の一部でタイルが波を打っている箇所があった。手すりの下でもあるので、危険性は低いと思われるが、施設の老朽化が進んでいる状況もあることから、再度現場を確認した上で対処方法を検討したい。

○計画書10ページの3収支状況報告書について、非常勤職員給与が減額となっているが、サービスに影響は生じないのか。

→平成28年度の卒園者が13名おり、利用者が減ったため、職員を減らしたもので、サービスへの影響はない。

○計画書4ページの8（2）管理経費縮減のための取組について、「容易な委託は行わず、支援業務に支障のない範囲で自己処理するよう努める。」とあるが、具体的にどのような業務を自己処理するのか。

→主に樹木の剪定業務になる。園内の低い樹木は、男性職員が療育時間後に剪定を行うなど自己処理をした。その他、今後も職員のできる業務は経費削減を念頭に自己処理を検討していく。

<審議の結果>

平成28年度野田市立こだま学園務報告書及び平成29年度野田市立こだま学園報告書について承認

3 閉会